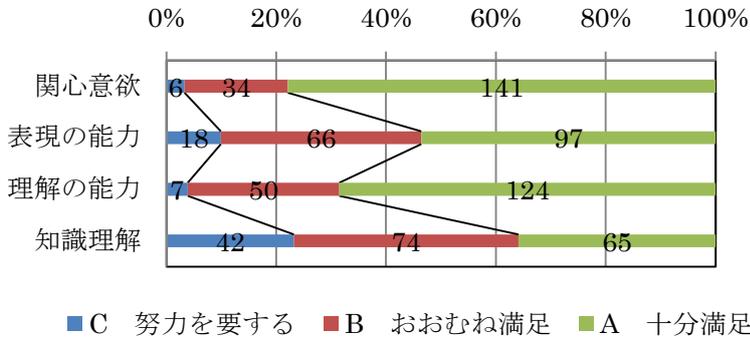
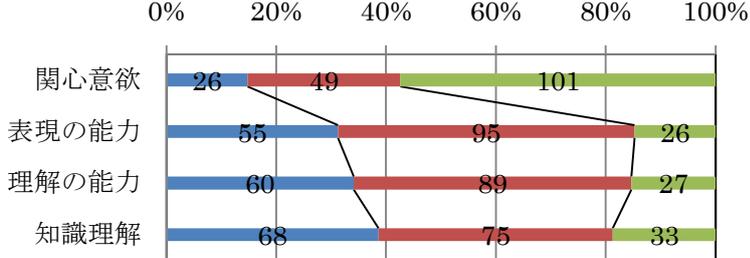
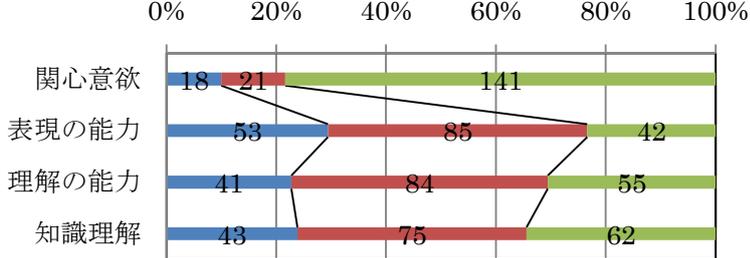


平成 30 年度 授業改善推進プラン

調布中学校

教科 英語	重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の充実 ・読み解く力の育成 																				
学習指導に関する現状と課題 (1 学期の評価より)																					
<p>1年</p>  <table border="1" data-bbox="188 398 938 741"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>6</td> <td>34</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>18</td> <td>66</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>7</td> <td>50</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>42</td> <td>74</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	6	34	141	表現の能力	18	66	97	理解の能力	7	50	124	知識理解	42	74	65	<p>改善策 英語学習の基礎ともなる幅広い語彙力をつけていくために、帯活動として辞書引きに取り組む。基礎基本を定着させるために、自主学習の推進を図る。授業ではペア・グループワークを通し、自己表現できる機会を多くしていく。</p> <p>検証 帯活動で書く機会を増やし、基礎的な学力が十分に身に付いた生徒が多い。それを生かして、来年度以降、表現力を伸ばせるように授業を展開する。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																		
関心意欲	6	34	141																		
表現の能力	18	66	97																		
理解の能力	7	50	124																		
知識理解	42	74	65																		
<p>課題 授業内で書く活動が少なかったため、特に「知識理解」の達成率が他の観点に対し低い。今後、書く活動をどのように授業に取り入れ、増やしていくかが課題である。</p>																					
<p>2年</p>  <table border="1" data-bbox="188 931 938 1189"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>26</td> <td>49</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>55</td> <td>95</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>60</td> <td>89</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>68</td> <td>75</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	26	49	101	表現の能力	55	95	26	理解の能力	60	89	27	知識理解	68	75	33	<p>改善策 書いて表現する力を育てるために、授業でライティングの活動を積極的に取り入れていく。辞書を引く活動を積極的に取り入れることで、語彙力もつけていく。家庭学習での練習ノートも活用しながら、書く力を伸ばしていく。</p> <p>検証 新出文法を活用したライティング活動や、発表活動に多数取り組んだことで、学んだ英語を活用したアウトプットの機会を設けられたことは生徒の学習意欲の底上げに繋がったと考える。辞書引き活動や単語リストの活用等、語彙力を高めるための活動を取り入れてきたが、覚えて発音できても書く力の定着までに至らない生徒が多かった。今後はこの力の定着と積み上げをはかることが課題である。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																		
関心意欲	26	49	101																		
表現の能力	55	95	26																		
理解の能力	60	89	27																		
知識理解	68	75	33																		
<p>課題 「表現の能力」、「理解の能力」と「知識理解 (言語)」において、全体の 7 割以上の数が C または B を占めている。学習した単語が文字に起こせない生徒が多くいたため、このような結果になったと考える。この観点をいかに身につけさせていくかが課題である。</p>																					
<p>3年</p>  <table border="1" data-bbox="188 1498 938 1756"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>C (努力を要する)</th> <th>B (おおむね満足)</th> <th>A (十分満足)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心意欲</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>表現の能力</td> <td>53</td> <td>85</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>理解の能力</td> <td>41</td> <td>84</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>知識理解</td> <td>43</td> <td>75</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)	関心意欲	18	21	141	表現の能力	53	85	42	理解の能力	41	84	55	知識理解	43	75	62	<p>改善策 観点 2 表現については、まずは単文を書く復習をしながら、テーマに沿って 3 文以上の流れを構築する力につなげていく。観点 3 理解については、長文を読み解くため、語句の塊の適切な捉え方を指導する機会を増やす。既習テーマについての別の新たな文章を読むことで、推測する力もつけられるように導く。</p> <p>検証 年度の後半に新しい言語材料の学習がおわった段階で、授業で多読と英作文に特化する時間を多く持った。そのことは、3分から 5～7 分程度の英文を書くことができた。また、未収語を含む文章であっても、読むことに挑戦し、実際に内容ある程度理解する力を付けることができた。が、底辺層で学習につまづいている生徒達の力を個別に引き上げることはできなかった。</p>
項目	C (努力を要する)	B (おおむね満足)	A (十分満足)																		
関心意欲	18	21	141																		
表現の能力	53	85	42																		
理解の能力	41	84	55																		
知識理解	43	75	62																		
<p>課題 観点 2・3・4 についてそれぞれ 2 割強の生徒が、努力を要する状況にある。観点 1 は、9 割の生徒が充分満足する状況にあるため、学習の習慣はある程度ついていると思われる。今後は、各観点の努力を要する生徒の層を、引き上げていく必要がある。</p>																					